

平成 22 年 5 月 10 日

各 位

会社名 松本油脂製菓株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 木村 直樹  
 (JASDAQ・コード 4365)  
 問合せ先 経理部長 山田 正幸  
 (TEL. 072-991-1001)

## 業績予想の修正及び会計方針の変更に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表した業績予想の修正及び会計方針の変更を下記のとおりにお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 22 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	24,300	550	950	560	52.43
今回発表予想 (B)	23,550	980	1,530	700	68.76
増減額 (B－A)	△750	430	580	140	—
増減率 (%)	△3.1%	78.2%	61.1%	25.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	24,358	371	771	141	13.29

#### 2. 平成 22 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	24,000	480	880	530	49.62
今回発表予想 (B)	23,040	870	1,420	640	63.85
増減額 (B－A)	△960	390	540	110	—
増減率 (%)	△4.0%	81.3%	61.4%	20.8%	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	24,039	239	741	169	15.89

#### 3. 業績予想の修正の理由

##### (1) 連結業績

売上高に関しましては、国内においては繊維産業の減産と海外移転による市場の縮小、海外では円高の進行により、前回発表予想より減収となりました。営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、原料コストの削減、経費の圧縮及び機械装置の減価償却方法を定率法から定額法に変更したことにより、前回予想を上回る見込みであります。

なお、会計方針の変更を平成 22 年 3 月 15 日開催の取締役会において決議いたしましたが、為替動向が不透明であったことなどにより、業績予想の修正の必要性を本日認識しました。

##### (2) 個別業績

連結業績予想と同様の修正理由であります。

#### 4. 会計方針の変更

従来、機械装置の減価償却方法については、定率法を採用していましたが、当事業年度より定額法に変更しております。

当社は、生産能力の増強及び価格競争力の強化を図るため、前事業年度に大規模な設備投資を実施しましたが、これに伴い生産設備の使用実態を精査しましたところ、概ね耐用年数にわたって長期的かつ安定的に利用され、修繕費等の維持コストも安定して発生していることが確認できました。また、この傾向は今後も続くものと考えております。

従いまして、これまでの減価償却方法では、投資初期段階の減価償却費が過大になっているために、費用収益の対応関係の合理性が損なわれており、費用配分の方法として合理的である定額法を採用するのがより適正であると判断いたしました。

これにより、従来の方法によった場合と比べて、平成22年3月期通期において、営業利益は320百万円、経常利益及び税金等調整前純利益はそれぞれ321百万円増加しております。

以上